



グリーンコーン

常緑／中高木／木本植物／外来種・園芸品種



科名 ヒノキ科クロベ属 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い、針葉樹

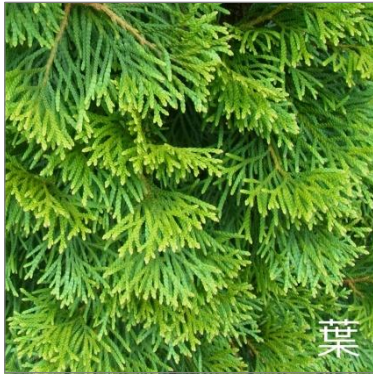
明るい緑色の葉は、冬になるとベージュを帯びた色合いになる。円錐形の樹形が美しいので、生垣や列植に利用しやすい。葉を揉むと芳香がするニオイヒバの仲間。神奈川県で作出され、主に関東圏で生産される品種。よく似たエメラルドに比べ、寒さに強く、生長がやや速い。



葉



アリアケオーレアとの組み合わせ



葉



球果

Memo

緩効（かんこう）性肥料は、ゆっくり作用する肥料。コニファー類に速効性肥料や多肥は適さない。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花 期	(鑑賞には向かない)											
	果 実	(鑑賞には向かない)											
	紅 葉												
	施 肥	(春先に緩効性肥料を少々)											
剪 定													

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

ポイント

湿り気ある土壌を好み、移植が容易。強い日差しや外壁からの輻射熱があると、葉焼けすることがある。積雪すると、枝が広がり樹形が変形するので、事前にベルトで数箇所縛ると防ぐことができる。

剪 定

葉が密生すると、高温多湿の時期に内部の葉が蒸れて黄色くなりやすい。枝を透かせて風通しを良くする。芯（主な幹）が2本以上になると円錐樹形が崩れるので、強い側枝は切除するとよい。

病虫害は少ない。

病虫害